

第4回 茨城港カーボンニュートラルポータル(CNP)形成計画作成ワーキンググループ

議事概要

会議概要

日時：令和4年2月21日(月) 13:30~14:30

開催形式：Web 会議

議事内容

○事務局から令和3年12月24日港湾局公表の「カーボンニュートラルポータル(CNP)形成計画策定マニュアル(初版)」を踏まえた茨城港 CNP 形成計画(案)を提示し、構成員から了承を得た。

○各企業におけるご意見等

- ・ CNP 形成に向けて 2030 年及び 2050 年の目標が数値化され、目標が明確になった。また、CNP-WG 構成員で目標を共有できたことが成果。
- ・ 省エネの一環として必要な電力の効率的な利用、待機電力など不用な電力の排除に取り組んでいる。
- ・ 2030 年に向けて茨城港の更なる発展が期待される中、CO2 削減・CN の相反する目標を如何に達成するかが課題になる。
- ・ 設備計画のために県・国の支援制度を活用したい。
- ・ 茨城県内だけでなく他県の非化石エネルギーの活用も考慮する必要がある。
- ・ 分散型電源的な役割として企業が太陽光発電を増やす等の取り組み、多面的に CN として大規模発電業者の非化石化や分散電源の再エネ化を組み合わせることを想定。
- ・ 電源系統の安定化や系統の繋ぎ込みが課題になる。
- ・ 単一のエネルギーに頼らないエネルギーの多様化が必要。追加コストの負担について考えることが必要。
- ・ 燃料アンモニアの世界初の大規模商用化に向けて取り組みを開始。サプライチェーン構築、面的な拡大に向けて CNP 関係者にご協力いただきたい。
- ・ 荷役機械やトラックのハイブリッド化、アンモニア・水素燃料化等の技術開発動向を把握して更新タイミングを検討している。
- ・ 港湾利用者(船社、運送事業者等)にも別途ヒアリングを行い、CN に向けた取組を CNP-WG 構成員に情報提供した。

以上